

教職員の勤務状況等調査結果【令和5年2月のまとめ】

令和5年4月 群馬県教育委員会 学校人事課管理係



毎月の勤務状況調査に御協力いただきありがとうございます。令和5年2月分の勤務状況等調査の集約結果を以下の通り報告いたします。

集計結果を確認いただき、教職員の多忙化解消に向けた協議会からの「提言R5」とあわせて今後の充実した働き方の参考としていただければと思います。新年度に入りましたが、引き続き働き方改革・業務改善を通して「子どもたちと向き合う機会の充実」を進めて参りますので、御理解御協力のほど、お願いいたします。



令和5年2月の状況について

■時間外在校等時間が月45時間以上の者の割合を前年2月と比較すると、小学校と特別支援学校では横ばいである一方、中学校と高校では増加（時間外在校等時間が長くなる傾向）となっています。

■令和4年1月21日から新型コロナウイルス対応のまん延防止等重点措置が県内全域に適用されており、令和4年2月は学級閉鎖や部活動の制限等、様々な措置がとられていました。その影響が、中学校、高等学校における時間外在校等時間が月45時間以上の者の割合に大きな影響を与えているものと考えられます。

■新年度となり新しい体制でのスタートを切ったところですが、日頃業務や行事の運営など、教職員の多忙化解消に向けた協議会からの「提言R5」を参照していただければと思います。また、新型コロナウイルス感染症の5類移行が予定されています。学校行事や業務等の再開にあたり、安易にコロナ禍前に戻ることをのないよう再度の見直し、検討をお願いします。（提言は下記リンクを参照）

[多忙化解消に向けた協議会からの「提言R5」：教育関連情報（令和5年1月配信）](#)



「全国の学校における働き方改革事例集改訂版が公開されました」

■3月22日（水）に、文部科学省主催の「学校における働き方改革フォーラム」がオンラインにて開催されました。今回は、業務改善の進捗状況や検討を進める上での参考となる、「働き方改革チェックシート」や「事務職員が主体となって進めた学校の働き方改革」の事例など、全国の学校や教育委員会における新たな働き方改革の取組事例が紹介されました。

■このフォーラムの開催に合わせ、令和5年度版の「全国の学校における働き方改革事例集」が文科省ホームページにおいて公開されました。「学校と保護者間の連絡手段のデジタル化」など、各教委や各校における取組にも役立つ事例が掲載されていますので、ぜひご覧ください。事例集は以下のリンクからご覧ください。

[全国の学校における働き方改革事例集（令和5年3月改訂版）：文部科学省 \(mext.go.jp\)](#)

事例で知る 業務改善の具体的方法 働き方改革チェックシート

学校の働き方改革の推進に向けて、各学校において取組状況を把握するとともに、更なる取組の検討や振り返りに活用できるチェックシートを作成しました。
業務改善の内容について1～14に分類し、取組例（本事例集の取組等）を参考に教職員・学校として現状を把握、改善の余地を明確化し、自ら取り組みたいことを決定、定期的に取組を振り返り、業務改善の全体像を把握できるように構成しています。エクセルで作成しているため、各校独自の取組を加筆し、オリジナルシートにすることも可能です。
自校の現状を把握し、それぞれの学校の状況に合った働き方改革の実践、校内の教職員全体で課題意識を持ち、取組を進めるためのツールとして役立ててください。

No.	項目	内容	学校・教職員が取り組むべき事項	年度別取組状況	年度別取組状況
1	1. 現状の把握	学校・教職員が取り組むべき事項を把握するためのツールとして活用する。	現状把握	現状把握	現状把握
2	2. 業務改善の推進	業務改善の推進のためのツールとして活用する。	業務改善	業務改善	業務改善

① 項目・内容

② 学校・教職員が担う業務に係る3分類

①基本的には学校以外が担

No.	項目	内容	学校・教職員が取り組むべき事項	年度別取組状況	年度別取組状況
1	1. 現状の把握	学校・教職員が取り組むべき事項を把握するためのツールとして活用する。	現状把握	現状把握	現状把握
2	2. 業務改善の推進	業務改善の推進のためのツールとして活用する。	業務改善	業務改善	業務改善

個別事例からみる 事務職員 による 学校の働き方改革

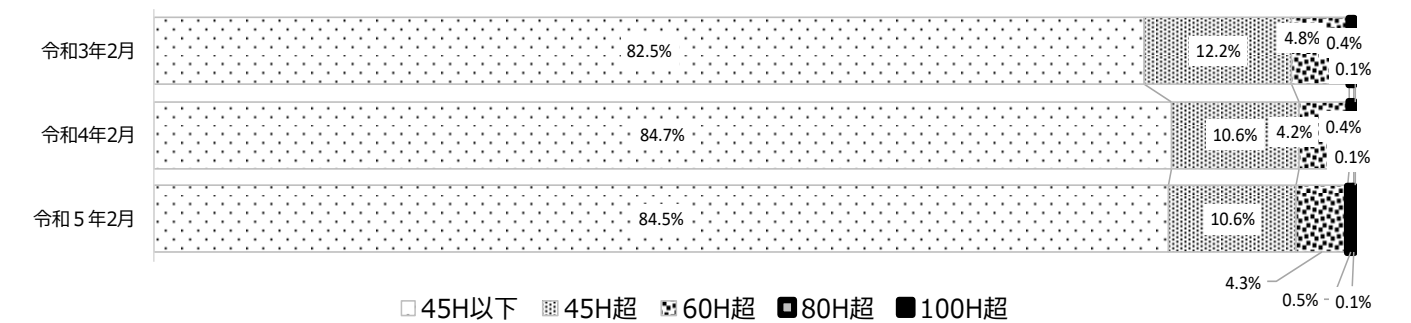
活躍していただくべき存在です。本記事では、現場の事務職員の様々な職務、または実施上の工夫を行っているのか、どのような取組が効果的であったか、また校務運営に関する業務にどこまで踏み込めたかなど悩まれるケースを事例として紹介しています。

標準的な職務（総務、財務、資料、事務全般）の実施上の工夫事例等をご覧いただき、ぜひ参考にしてください。管理職・他の教職員においても事務職員との連携を定め、学校の働き方改革の推進にご活用ください。

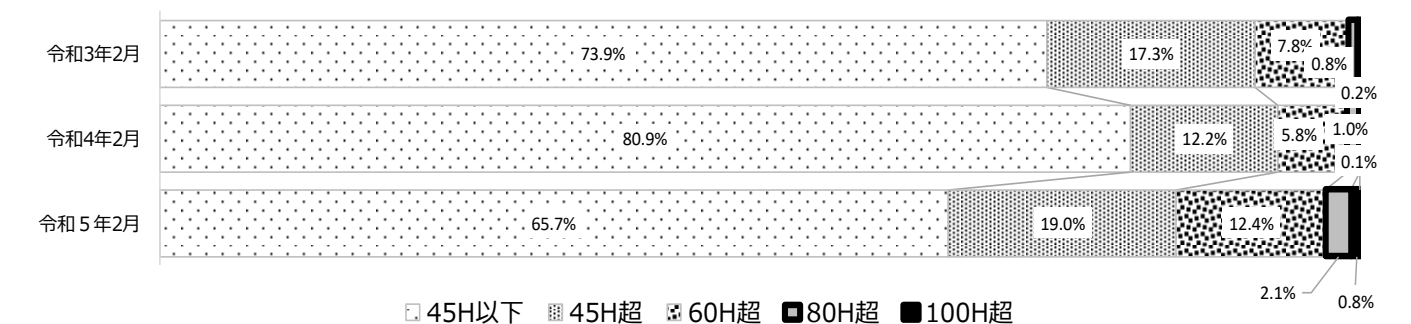
時間外在校等時間の状況【2月の経年変化】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

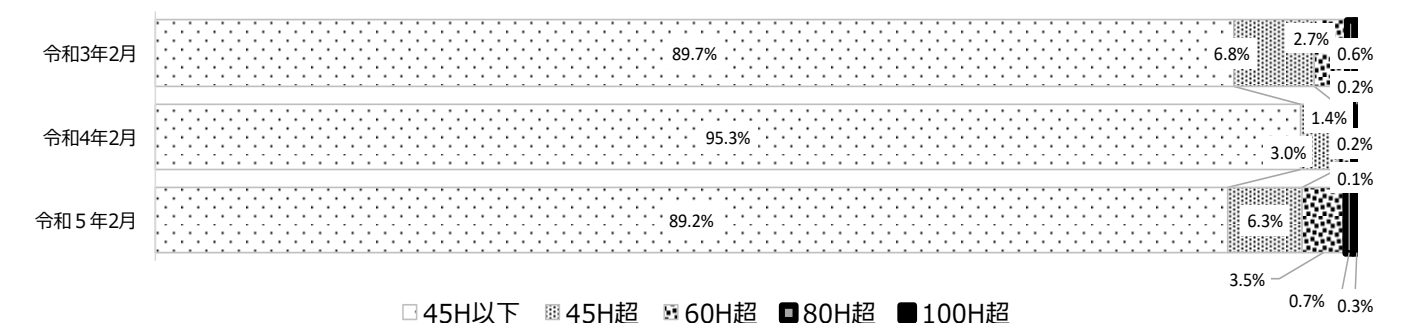
1 小学校の状況



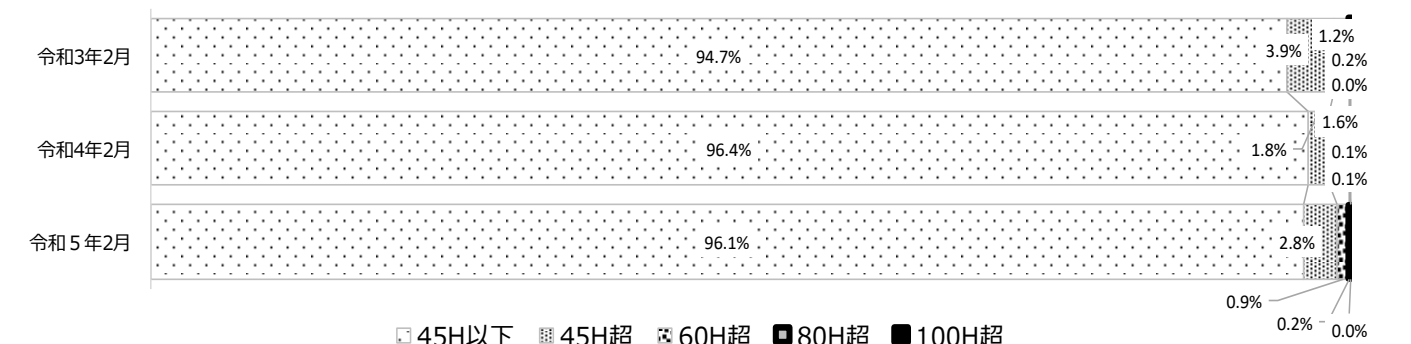
2 中学校の状況（市立の義務教育学校を含む）



3 高等学校の状況（県立・市立の中等教育学校,市立の高校を含む）



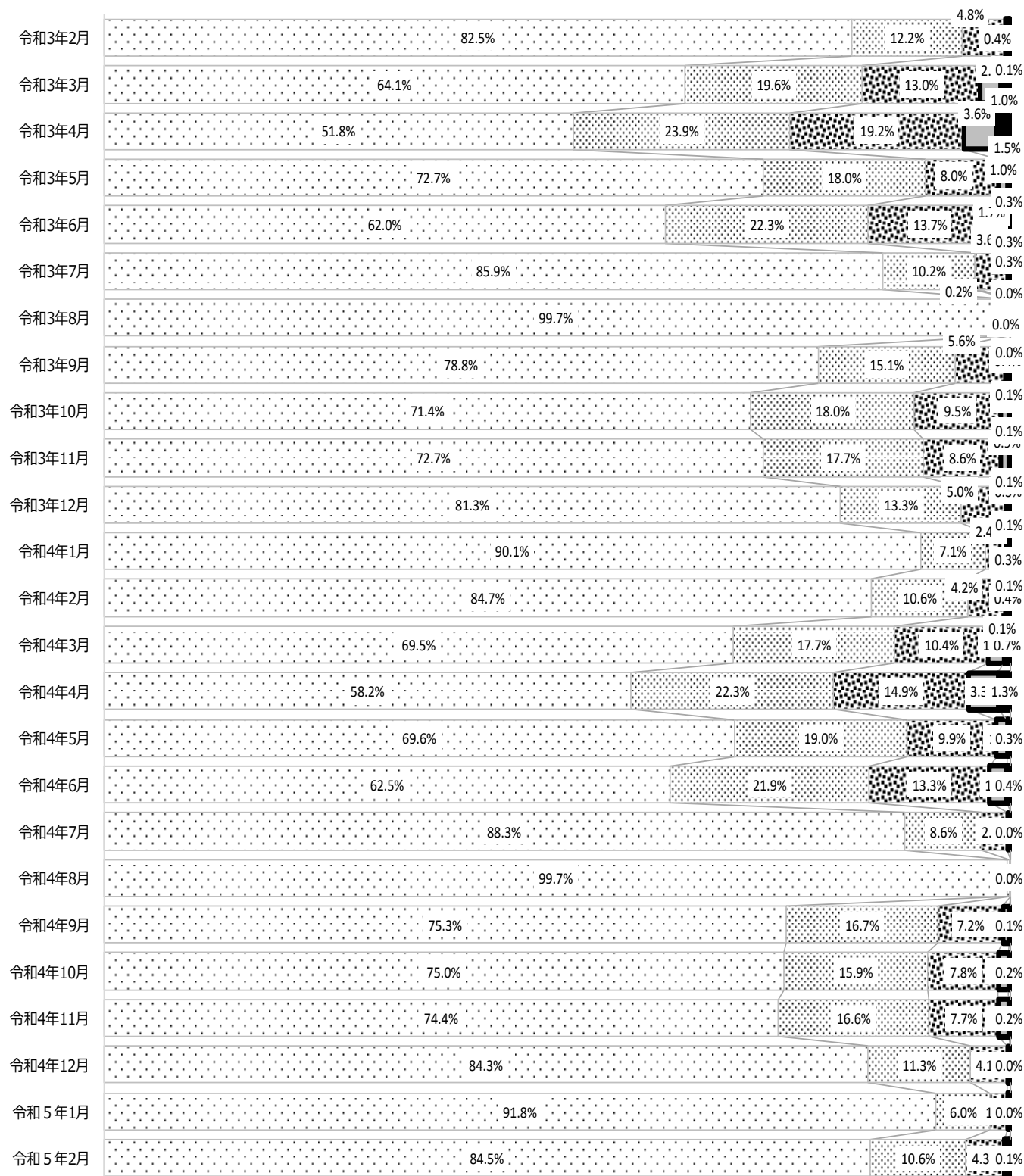
4 特別支援学校の状況（市立の特別支援学校を含む）



時間外在校等時間の状況【令和3年2月～】

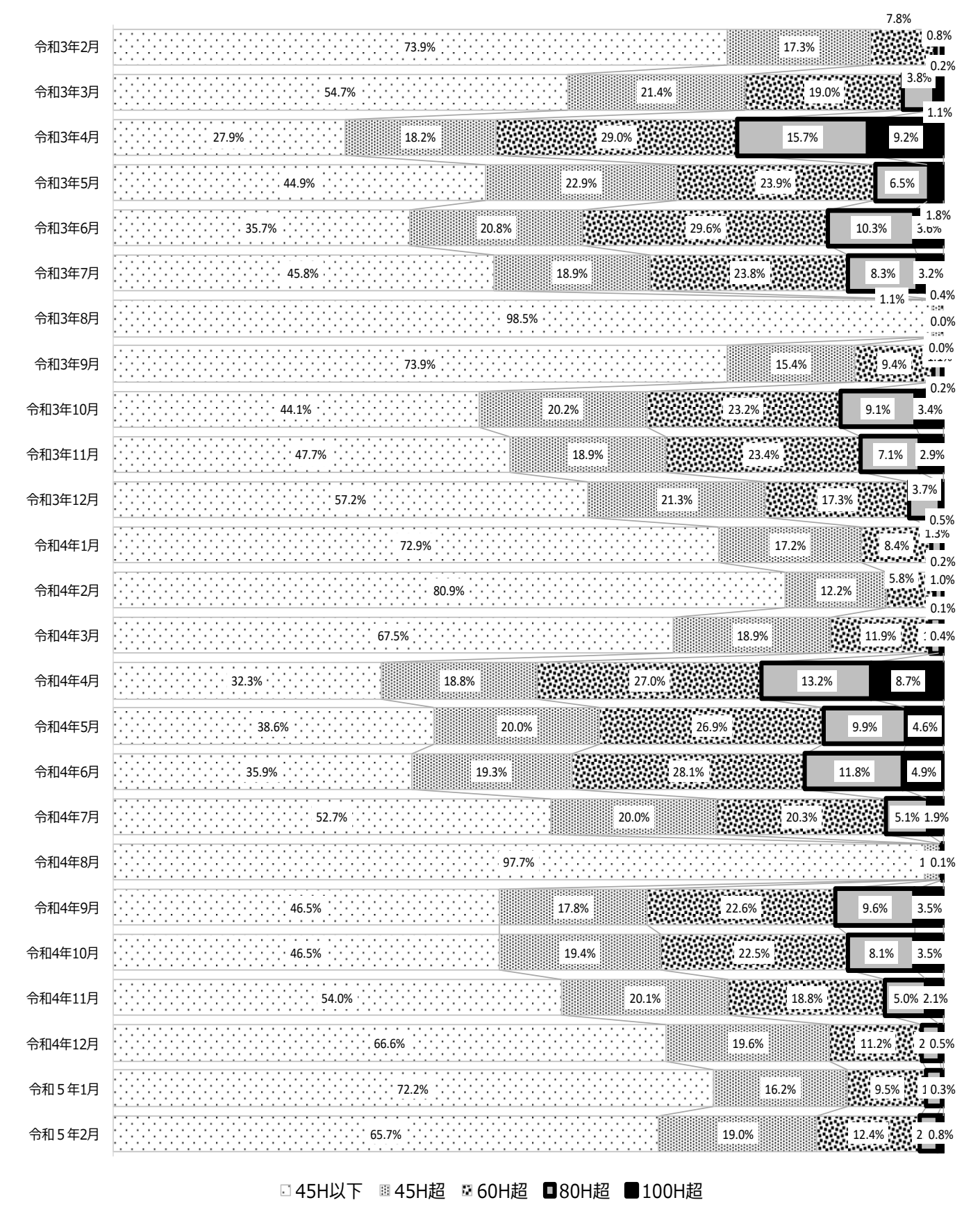
[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

1 小学校の状況

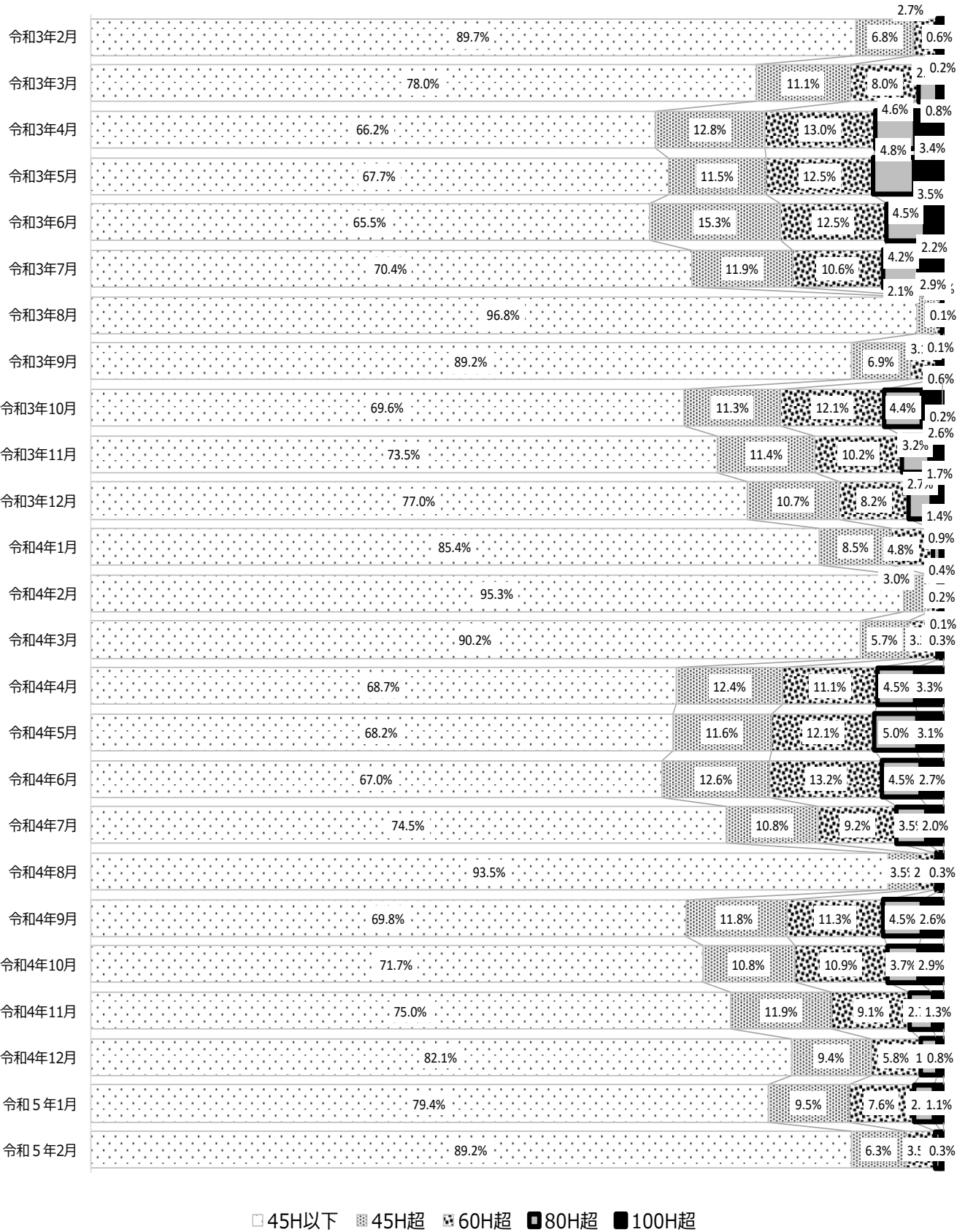


□ 45H以下 ▨ 45H超 ▩ 60H超 ■ 80H超 ■ 100H超

2 中学校の状況（市立の義務教育学校を含む）



3 高等学校の状況（県立・市立の中等教育学校含む）



4 特別支援学校の状況（市立の特別支援学校を含む）

